

副市長を4人にする条例改正などで討論

日本共産党議員団は保育園の民営化関連議案にも反対



上越市議会は15日、それまでに議会に提案されていた議案の討論、採決を行いました。

注目の副市長を4人にする副市長定数条例の一部条例改正については、鈴木めぐみ議員が賛成の立場で、「市長の公約であり、多数の応援した市民がいて、上越市政の改革にすぐ必要である」「上越市の人口減少は止まらず、1年かけて検

討する時間はない」「市民が求めているのはスピードと実行力だ」などとのべました。反対の立場からは、「部局のスリム化と合わせ、組織改革の全体像をはっきりさせてから提案すべきで、性急な提案だ」（宮川議員）、「改革の全体の理念、目的があいまいだ。まず、将来ビジョンを明らかにし、行政執行体制を変えて副市長を置く、これが肝だ」（宮越議員）などの討論がありました。

日本共産党議員団からは平良木議員が登壇、同議員は副市長定数条例の一部改正だけでなく、マイナンバーカードの健康保険証利用を勧奨するための経費を増額する国民健康保険特別会計補正予算、保育園の民営化を推進する保育所条例の一部改正、さんわ保育園にかかる財産の無償譲渡について反対理由をのべました。このうち、副市長定数条例の一部改正については、「市政運営の全体的な所

信表明を抜きにして、副市長を4人にするというのは納得できません。行政組織条例は後日提案したいとのことであれば、どのような行政組織、機構にしていくなかの柱だけでもまず明らかにすることが必要です。こうした順序を踏まずに提案された今回の議案には賛成できない」とのべました。

討論の中で、「副市長を4人にする」ということは市長の選挙公約だとして認められたのは鈴木議員と宮川議員ですが、私たちは選挙公約だと言うなら「動画だけでなく、公約文書（マニフェスト）にも入れるべきだった」という立場です。

採決の結果、副市長の定数条例改正については鈴木議員1人の賛成、他は反対で否決となりました。また、日本共産党議員団が反対した3つの議案は私たちだけが反対、その他の議員は賛成だったので可決となりました。



新年度予算編成で要望書提出

日本共産党議員団は21日、中川市長に新年度予算編成に関する要望書を提出しました。

要望書は新型コロナから市民の命と暮らし、医療を守るなど7つの柱、118項目の内容が盛り込まれています。要望書を受け取った中川市長は、「検討させていただきます」とのべていました。

要望書提出後、議員団は市長と懇談、市長の激務と健康管理、今年の忘年会、副市長4人制問題などについて和やかに懇談しました。

上越市は21日、住民税非課税世帯等に対する1世帯当たり10万円の給付することを専決処分しました。また暖房用の灯油などの値上げに対応するため、対象世帯に灯油購入費助成金5000円を交付することとしました。

今回の10万円の給付の対象となるのは約2万2000世帯（このうち住民税均等割が非課税の世帯は約1万7500、家計急変世帯は約4500）です。また、今回の灯油購入費助成世帯は約3000となります。詳しいことは市役所福祉課または各区総合事務所にお聞きください。

住民税非課税世帯等への10万円給付決定 灯油購入費助成も……上越市が専決処分



【ムシトリナデシコ】（再掲）ナデシコ科の越年草。漢字で「虫取り撫子」と書きます。ムシトリバナとも言われています。茎の上部に粘液を出すところが帯状にあり、ここに虫がくっつくことがあります。花期は5月～6月ですが、12月11日にも咲いていました。花は濃いピンク色。花言葉は「偽りの愛」「誘惑」。写真は吉川区代石にて撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2042 2021.12.26

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見た
ある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い 第六八九回 茶筒ダンス

先日、大島区熊田出身のシズエさんが入所している介護施設を訪ねました。

その日の前の日曜日、熊田町内会が制作発表した「思い出ビデオ」のなかに出てきたシズエさんの「茶筒ダンス」のことが気になり、それをやっている実際の姿を見てみたくなったのです。

施設の面会所へやってきたシズエさんは面長で、人懐こい顔のお母さんでした。すでに九〇歳を越えているとのことでしたが、八〇代半ばくらいに見えました。

私が旭地区竹平の「のうの」（母の実家の屋号）の生まれであることを伝えると、シズエさんは「聞いたことがある」と言われました。なぜかホッとしました。

この後、「この間、熊田町内会の行事で茶筒使ったがビデオで見せてもらったんですわ。町内会長のテツオさんは「茶筒ダンス」と呼んでいなかったんですが……」と私が言うと、シズエさんは、うれしそうに笑いました。

私の注文で、面会所では、二人の女性職員さんが白い机を運んでくださり、舞台が出来ました。いよいよ「茶筒ダンス」の始まりです。

♪越後名物 数々あれど 明石ちじみに雪の肌 着せたら離せぬ 味の良さ テモサツテモソウジャナイカ テモソウジャナイカ

シズエさんは唄を口ずさみながら、それに合わせて茶筒を動かしました。

まずは両手でパンとやって、右手を下向きにし、左側から茶筒を握る。茶筒の頭を左手の「てのひら」にポンとあてて茶筒を上を持ち上げる。次に、茶筒の下の方を左手の「てのひら」にちょっとついて、その後、机の上でトントンとやる……。

途中で茶筒を握りそこねるハプニングがありました。シズエさんはじつに楽しそうに「茶筒ダンス」を続けました。

♪雪が消えれば 越路の春は 梅も桜もみな開く わしが心の花もさく テモサツテモソウジャナイカ テモソウジャナイカ

「茶筒ダンス」はこの唄の二番までやって終わりました。シズエさんの茶筒のあやつり方があまりにも見事だったので、私は、「これは簡単に出来ない芸だ」と思いました。シズエさんによると、この芸は炭坑節でも何でも合わせてできるそうです。

どうあれ、これほど見事な芸は、大勢の人に見てもらわないともったいない。そう思った私は、シズエさんに「熊田などでもやっていなるの」と訊（き）きました。すると、「五、六人を相手にやったことがある」とのことでした。

そしてシズエさんは続けて言ったのです。「じゃあ、ひとつやってみるかね」。これには驚きました。「茶筒ダンス」の芸を楽しく見てくれる人達の姿がすっかり頭の中に入っているのですね。

シズエさんは再び唄をうたい、茶筒をあやつりました。その時、「あっ」と思いました。この唄は亡き父がよくうたっていた唄だったので。あとで名前を思い出しましたが、十日町小唄でした。

この日、初めて知ったのですが、「茶筒ダンス」はシズエさんが創作したものではありませんでした。子どもの頃、シズエさんの家に高田から瞽女（こせ）さんがやってきて、この「茶筒ダンス」をやってくれたのだそうです。それをシズエさんのお母さんが覚え、シズエさんにも教えてくれたということでした。

瞽女さんたちは、きびしい練習で唄や三味線などを覚え、その芸を大勢の人たちに楽しんでもらい、人のやさしさを広げてきました。シズエさんの「じゃあ、ひとつやってみるかね」という言葉を聞いて、私は思いました。シズエさんも、瞽女さんたちのやさしい心を引き継いでいこう。

ほっとホットコンサート、今年も楽しく

先週の日曜日、夢をかなえる会主催の「ほっとホットコンサート」へ行ってきました。

「Panda quartetto」の皆さんのジャズ演奏、「テキーラ」などの曲が素敵でした。片田の吉田カさんがドラムをやっておられたのにはびっくりしました。

吉川中学校の吹奏楽部は現在、部員が全部で6人、この日は「パパリカ」「ふるさと」などを演奏してくれました。これからも頑張ってもらいたいですね。

2021全日本アマチュアギターコンクール優勝の山岸協慈さんは、「恋する乙女のバラード」「11月のある日」など曲を聴かせてくださいました。

最後に登場したのはコーラスサークルゆりかごのみなさんです。南相馬市の子どもたちが作詞したという「群青」は初めて聴きました。心にひびく歌でした。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月15日(水)	12月22日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.047	0.040
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.047	0.057
頸南消防署	0.053	0.060
東頸消防署	0.043	0.050
名立分遣所	0.060	0.060
高士分遣所	0.057	0.057